

『大豆から生まれる新薬に期待』

～～C型肝炎治療薬の治験が始まります～～

肝臓川柳



C肝の 治験新薬 期待大…ず』

(大です⇒大っす⇒大っず⇒大豆・・・汗)

10月に入り本格的な食欲の秋本番に突入しますが、皆さまは如何でしょうか？
いくら食欲の秋だといっても暴飲暴食では身体に悪いですよ。
何といてもバランスのよい食事が自分の免疫力を高めてくれます!!
その中でも植物類の体に対する効果は甚大なものがあり未知の効果も多々あるようです。

♪C型肝炎の治療とからめて治験が始まる新薬を紹介♪

イソフラボンでお馴染みの『大豆』が身体に良い事をご存知かと思えます。大豆の胚芽の部分に極く微量に含まれている『ソヤサポゲノールB』という物質が、何と肝臓の炎症を抑えるのみならず、C型肝炎ウイルスを抑える効果がある事が判明しました。(胚芽は何でも体によく、未知の効果があると以前から予想されていました)

インターフェロンとの併用により、これまでの治療(インターフェロン+リバビリン)と同等以上の効果がありそうとの事なのです。

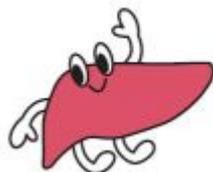
しかもうれしい事に副作用はほとんど無いといわれています(貧血にならない)

【作用機序としては…】

C型肝炎ウイルスを抑えるインターフェロンシグナル伝達を増強させる(自分の免疫力を高める)事が判明しています。これまでの抗ウイルス剤にはない作用なんです!!!

★★当院でもC型肝炎の新患者さんを対象として治験が始まります(10/6より)

実際に使えるようになるには数年後になると思いますが、乞うご期待♪



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

大豆の胚芽から抽出された「ソヤサポゲノールB」という物質がC型肝炎ウイルスを抑える効果があると研究により分かってきました。インターフェロンとの併用で有効性があるとのことです。当院でもC型肝炎の新患対象に治験が開始されます。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫)